

三鷹中央通信

2006年 Vol.03



医療法人社団 永寿会
三鷹中央病院
三鷹中央リハケアセンター



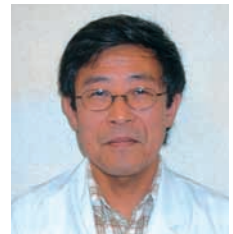
日本医療機能評価機構

三鷹中央病院は、平成14年に日本医療機能評価機構に認定されました。



徳島県 かずら橋

三鷹中央病院 副院長 長嶋吉郎



今年の4月中頃、今号の三鷹中央通信の原稿を依頼されたのですが、時間は十分にあると思っていた締め切りが、アツという間に過ぎ、慌てて書き始めています。

普段は仕事で殆ど書き方の決まった文章を書くだけであり、今回の様な原稿を書く事は初めてなので、どんな物になるかと不安です。

テーマは特に決まっていらないが、日頃感じていることを書くようにとの事。普段家にいる時は、サッカーワールドカップ日本代表の先発メンバーが誰かとか、一次予選を突破できるか(今号が出る頃には結果は出ていると思います。僕は1勝出来ればいい方だと思っています)とか、今回のジャイアンツの強さは本物か(すでに怪しくなっています)など好きなスポーツの事を考えていることが多いのですが、それでも報道番組を見ていると感ずることがあります。昨春秋、衆議院選挙があり、自民党の大勝利に終わったわけですが、その後最近までに話題になった事を挙げると、マンション耐震構造偽装事件、民主党メール問題、ライブドア粉飾決算事件、国民年金保険料の不正免除問題、子供への殺人事件の多さなどがあり、日本はこれからどうなるのだろうかと不安に感じる事が多々あります。

先頃ジャワ島で大地震が起こり多数の犠牲者が出ていますが、我々の住んでいる日本、特に東京で大地震が起きたとしたらどうなるのだろうか、自分の住んでいる建物は大丈夫だろうか、

不安に感じる人は多いのではないのでしょうか。

中でも特に関心を持って見ているのは、医療制度に関してです。5月18日に医療制度改革関連法案が衆議院を通過したとの報道がありました。しかもサラリーマンの窓口負担を3割に引き上げた平成14年の健康保険法改正の際には衆議院で56時間審議されたのが、今回は34時間だったとの事。いつから施行されるのかわかりませんが、70〜74歳の窓口負担を原則の1割から2割に引き上げるとの事です。将来的にはほぼ全員3割負担になる事も考えられます。

また、報道によると政府案では、平成24年までに現在の療養病床数38万床を15万床に減らす計画との事。その頃には団塊の世代は70歳近くになっているのです。他にも、この十数年の少子化傾向で、産科・小児科の医師が少なくなっており、実際に地方の医師不足は深刻との事です。今後の日本の医療はどうなっていくのか非常に不安に感じています。

最後になりますが、今年も当院に在職して丁度20年になります。これまで多くの方々を支えられて地域医療の仕事に従事して参りました。これからも感謝の気持ちを忘れずにいっその努力をしていきたいと思っておりますので三鷹中央病院をよろしく願います。



三鷹中央病院

医師紹介



乳腺・呼吸器科
久吉 隆郎
4月より外科
系の医師として三
鷹中央病院に就
職しました。

出身は福岡県小倉で、7歳の時に杉並区に引越し30年近く住んでいます。大学を卒業後、川崎の日本医大第二病院外科に20年以上勤務し、その間、国立がんセンターで呼吸器外科を研修し、国立立川病院（現東京都災害医療センター）にも1年間在職しました。5年前ブラジルに1年間留学、帰国後日本医大千葉北総病院呼吸器センター長を務め、その後突然仙台にわたり東北労災病院で3年間働いて、4月より東京に戻ったわけです。

三鷹中央病院には以前から非常勤で来ておりました。かつて町田のキリスト教病院や成瀬の成南病院に仕事に行っていた頃、すぐ近くの町田病院の吉田正一院長の評判をしばしば耳にすることがあり、その卓越した外科医の能力と誠実な人柄は聞き及んでいました。そのようなわけで、三鷹中央病院に移られ、弟の吉田宏先生のお招きをいただいた時は喜んでお手伝いに来たわけです。さて、私の専門領域は外科、特に呼吸器外科と乳腺外科です。呼吸器疾患は、肺癌、肺良性腫瘍、感染症、膿胸、結核、気胸、嚢胞、気管支拡張症、喘息、肺梗塞ときわめて多彩で、外科だ

けでなく呼吸器内科としての診療も必要になります。また感染症は、結核やSARS、インフルエンザなどのように伝染性疾患では社会的な問題にかかわることが多く、タバコと禁煙外来では個人の生活習慣とかかわります。気管支喘息はアレルギー疾患ですが、広い意味では環境の病として社会の問題にかかわります。乳癌は全国的に罹患者が急激に増加しています。しかし、必要な数の専門医がいなのが実情で、急成長しつつある分野です。乳癌の治療は外科手術だけでなく、術後の治療と精神的なケアを含めたフォローアップが必要で、その説明の範囲は実に多彩で多岐にわたるため信頼される医師の人格が不可欠です。

そこで私の人格ですが、音楽に負うところが多いと思います。特にギターは子供の頃から弾いており、ピアノのように自由に弾く事を目標に毎日少しずつ練習しています。もうひとつは、語学です。前述しましたように5年前に非英語圏のブラジルに単身でわたり、血のじむ思いでポルトガル語を覚え、その体験以来、ヨーロッパの諸言語に、中東、アジアの言語を次々にかじっています。もちろん通訳などできませんが、簡単な読み書きや挨拶はその国の言葉でできる事が目標です。日本の中にも常に世界に目を向けたいからです。少し話が大きくなりましたが、肩の凝らない日常の会話からはじめますのでどうぞよろしくお願ひいたします。

三鷹中央リハケアセンター

2006年介護保険改正のポイント

「介護予防」に重きが置かれる

介護保険の創設から初の大改正となる「介護保険法等の一部を改正する法律」が今年4月から施行されました。基本理念である「自立支援」を強化・具体化するとともに、高齢者の「尊厳の保持」を目的に明記されました。

介護保険でサービスを受けるには、まず介護認定を受け、要支援もしくは要介護1～5の認定をもらうことが必要です。今度の改正では、この6段階の認定区分のうち、要支援と要介護1の一部が要支援1・要支援2に変わります。

ポイントは、新たに設けられた要支援1・2ですが、この区分に認定された人には「新予防給付」という、今までとは違ったサービス給付がなされます。何が違うのかといえば、今までのサービス内容を、「介護予防」つまり「要介護状態にならないようにする」という視点で見直すことです。また、要介護状態にならないようにするため、身体機能そのものを維持・向上させるといった視点も強化されます。筋力向上や、転倒防止のために身体バランスをとるトレーニング、あるいは身体機能の衰えを防ぐ効果があるとされる口腔ケア、高齢者の栄養状態を改善するための指導など、様々なメニューが想定されています。

介護サービスを受けるまでの流れ

実際に介護保険サービスを利用するまでの流れをまとめてみました。

Aさんという人が「介護保険でサービスを利用したい」と考えたときです。まず必要なのは、市区町村窓口にて要介護認定の申請をすることです。その後申請をする

と、Aさんのもとに認定調査員が派遣されてきます。

認定調査が終わると、その結果をもとに市区町村で介護認定審査会が開かれます。今までは「その人の要介護度ランクを審査する」だけでしたが、改正では「その人の身体状況が維持または改善する可能性」も判定されます。つまり、要介護度が軽い人のうち、維持・改善の可能性がある人が「要支援1・2」にピックアップされるわけです。仮に、Aさんの身体状況が「維持・改善の可能性あり」と判定されたとします。この場合でも、Aさんが(1)病気やケガをしたばかりで容態がまだ安定しない、(2)重い認知症(痴呆)がある、といったケースでは今まで通り要介護1～5の判定がなされます。

もし、Aさんが要支援1または2と判定されたらどうなるでしょうか。この場合は、市区町村もしくは地域包括支援センターの保健師などに「介護予防プラン」を作成してもらうこととなります。受けられるサービスは11種類の介護予防サービスに限定されます。

このように、今回の介護保険制度改正は、介護予防にかなりの力点が置かれることとなります。ただし、介護予防サービスの具体的な中身やマネジメントの方法などについては、各サービス提供事業者によって色々なサービスが計画されています。介護予防といえば運動機械などを使った筋力トレーニングなどのイメージが先行していましたが、当施設では個別の身体状況から介護予防プログラムを作成し、施設内だけで行う筋肉向上トレーニングだけでなく日常生活動作の維持向上を目的とした訓練を積極的に取り入れることとしています。

インフォメーション

三鷹中央病院

「訪問看護ステーションを
ご存じですか？」

「三鷹ふれあい訪問看護ステーション」は看護師4名のスタッフ体制です。ご家庭を訪問し健康状態の観察や助言はもちろんのこと療養に関するご相談や、主治医の指示・連携のもとに医療的なケアを行なっています。在宅で療養している皆様の生活スタイルに合った看護を提供するとともに、安心してよりよい生活が出来るように支援いたします。現在、自宅で療養されている方、退院予定のある方等、お気軽にご相談ください。当ステーションの看護師はハートを熱く燃やして皆様をお持ちしております。

連絡先 TEL 0422-48-6031

三鷹中央リハケアセンター

【ボランティアさん募集】

三鷹中央リハケアセンターでは、利用者の皆様により快適にお過ごしいただくため、ボランティアさんの募集をしています。

- ① 昼食時のお手伝い(配膳・下膳)
- ② 利用者の話し相手
- ③ 散歩介助
- ④ 入浴・リハビリへの誘導
- ⑤ レクリエーション指導 編み物・裁縫・園芸・習字・囲碁・将棋・オセロ・歌・楽器演奏・その他
- ⑥ 演芸等(日舞・歌・楽器演奏・ダンス・落語・手品・その他)

★活動の日時につきましてはお気軽にご相談ください。

担当課

TEL 0422-70-0700



◎三鷹中央病院

住所: 〒181-0012 東京都三鷹市上連雀5-23-10
Tel: 0422-44-6161(代) Fax: 0422-48-9009

☆患者様の訴えを素直に受けとめて、
診療内容をわかりやすく説明し、最善の医療を提供します。

診療科: 内科・循環器科・内分泌科・呼吸器科・外科・消化器科・肛門科
整形外科・皮膚科・脳神経外科・眼科・泌尿器科・リハビリテーション科
人間ドック(1日・1泊)・健康診断・各種検診・産業医委託

診療時間: 月～土曜日/am9:00～12:00 pm2:00～5:30
日曜・祝日/am9:00～12:00 (救急外来は24時間受付)

病床数: 122床(一般病床87床、療養型病床35床)
その他: 三鷹ふれあい訪問看護ステーション Tel: 0422-48-6031

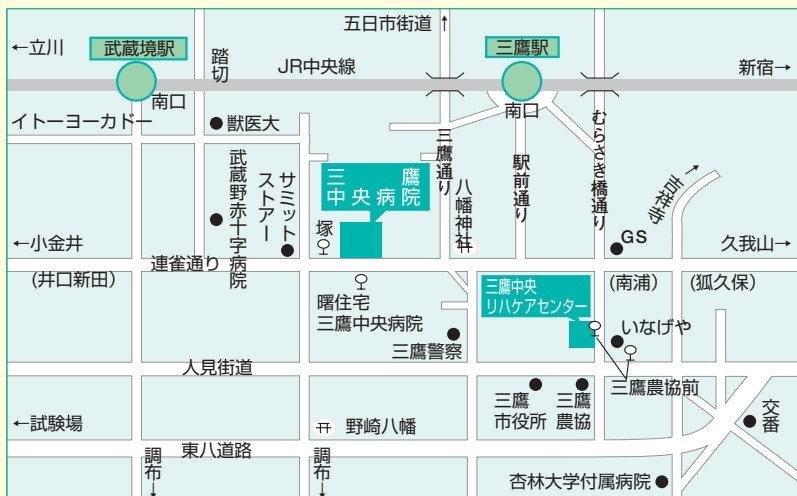
◎三鷹中央リハケアセンター

住所: 〒181-0013 東京都三鷹市下連雀9-2-7
Tel: 0422-70-0700(代) Fax: 0422-70-0701
☆心のもった介護、看護、リハビリテーションを提供し
「在宅生活への復帰」と「自立支援」を目指します。

- ベッド数: 100床(一般療養100床)
4床室/19室 2床室/1室
個室/22室
- 通所リハビリ: 60人
- 訪問看護ステーション・居宅介護支援事業所



ACCESS



三鷹中央病院

- JR中央線三鷹駅下車(南口)
- 南口よりバス、タクシー(1区間)
 - ④「新小金井駅」行
- 小田急バス ④「武蔵境営業所」行
 - ⑤「調布駅北口」行
- 『曙住宅・三鷹中央病院前』
下車徒歩1分

三鷹中央リハケアセンター

- JR中央線三鷹駅下車(南口)
- 小田急バス ⑧「野ヶ谷」行
- 『三鷹農協前』下車徒歩1分